うれしい弁護士会

会員 宮崎 まどか

1 クラス別研修

弁護士登録をして、やっと半年。

高揚感や充実感もあるが、思うようにいかないことも少なくない。内心は、緊張や不安でいっぱいの日々である。

それにしても、周りの同期の弁護士は、自信たっぷりに見える。

弁護士たるもの、自信は有るように振る舞うべき、ということもあるだろうか？

いやいや、みんな内側から「自信」が滲み出ているように見える。

最初に、それを感じたのは、当会のクラス別研修での第1回研修日だ。「入ったばかりでわからないことだらけ、不安でいっぱいですが、頑張ります!!」などと、自己紹介で新卒新入社員なら言いそうなことを言う弁護士は、誰もいない。

むしろ、すでに所属の事務所で、仕事を任されていて忙しい、こんな凄い仕事をしているぞ、的な自信と誇りに満ちた表情をしている。

すごいなー、と感心しつつ、でも、やはり、さすがに私も、「何もわかりませ〜ん」などという言葉で許してくれそうにはないことはわかる。

弁護士である以上、新人という言い訳は通らない、責任は自分自身で真正面から受け止めなくてはいけない、と自分に言い聞かせる。

というわけで、「そこそこ自信あり気に見えるといいな」的な下心をもって自己紹介をしたように思う。

いずれにしても、クラス別研修の第1回は、全体にどこか気負った雰囲気があるものだった。

2 出会いの場

クラス別研修の内容は、あらかじめメールでレジュメが配布され、各自検討してきたことを前提として、順番に意見を述べていくという形で行われた。

テーマは、「民事相談から解決までの流れ」で始まり、労働、家事…と様々な弁護士がこれから出会いそうな問題、シーンが取り上げられている。

担任、副担任の方が話してくださる対処方法や経験談によって、日常の仕事では見えなかった視点を教えていただいたり、他のメンバーの話聞くことで、事務所による対応や、仕事ぶりの違いが垣間見えて、とても有益な機会となっている。

回を重ねると、だんだんと気負った雰囲気も消え、窮屈めだった席にゆとりも出てきて（注：毎回全員参加とはいかないため）、居心地よく、自由に意見を言い合える場所になってきた。

3 弁護士会館

ちなみに、気弱な私は、弁護士会館に行くのも当初は恐る恐るだった。

先輩弁護士に、弁護士会館の4階は打ち合わせに利用できるし、とても便利だよと教えられてはいたが、会議室を使わせていただく機会はまだなく、広い第一会員室に一人で入るのも気後れしていた。数か月経って初めて、隙間時間ができた時に、ネット検索性のPCを使わせていただき、便利さに味をしめた。

ゆったりソファに座ったり、書類を広げて仕事ができるスペース、コピー機、FAX、無線LANも用意されているという至れり尽くせりである。

これからは、積極的に活用させていただきたいと思っている。

こうして、恐る恐るだった弁護士会館は今やオアシス…とまでは言わないが、クラス別研修だけではなく、他の研修や委員会など、日常の仕事とは違った勉強や経験をさせていただける貴重な場所となっている。

さて、次の目標は、同じ4階にあるという女性専用会議室のマッサージチェアにチャレンジすることだ。